

## 様式 1

# 令和5年度「業務改善『夢』コーディネーター」取組状況報告書

三島市立德倉小学校

## 1 取組内容

・スクールサポートスタッフや学校ボランティア、スクールカウンセラー等の外部人材の有効活用

→SSS:教職員が勤務時間を確認しやすいように掲示した。

月	8:10~④	12:40~④
火	9:00~②	
水	9:00~①	12:40~④
木		12:40~④
金	9:00~①	11:40~⑤

教職員が仕事の依頼をしやすいように依頼票を作成して活用した。

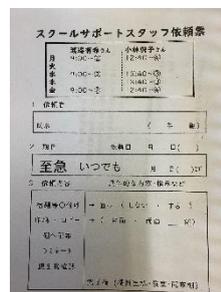
・高度な知識・技能を有する外部人材の活用

→巡回相談を頻繁に行い、担任にとって困り感のある児童がいるとき、巡回相談を活用したり、発達支援課と連携したりして、児童の指導に役立てたり、児童の理解を深めたりした。

・地域、保護者及び同窓会等との連携による外部人材の確保

→5年家庭科裁縫の授業でボランティアを募集し、基本的なミシンの使い方から縫い方まで授業の手助けをしていただいた。

→短期で3年生放課後学習「寺子屋」の支援員として、希望している児童の学習を見ていただいた。



## 2 取組の成果

・SSSが仕事内容や締め切り期日が分かるように依頼することで、予定や仕事順を確認しやすくなった。教職員も記入がシンプルで時間をかけずに依頼できるようになった。印刷や採点、掲示など教職員の業務削減に大きくつながった。

・巡回相談や発達支援課との連携については、困り感がある児童に対して専門的な知識から様々な手立てを教えていただき、指導の手助けになった。また、校内だけで解決することができないことや保護者とも丁寧に対応していただき、担任は余裕をもって児童と関わることもできた。

・地域や保護者等の外部人材については、職員だけでは目の届かないところもカバーすることができ、児童一人ひとりに丁寧に対応することができた。

## 3 取組の課題

様々な教育活動の中で、どうしても時間が足りないと感じる場面があり、外部の方々を有効活用することはとても効果的だと感じる。一方で、外部と連絡を取り合い調整する大変さも感じる。継続して連携し続けていくことが大切だと考える。